

2022年度 日本工学院専門学校											
C G 映像科											
デジタル演習 5											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	60	単位	2
担当教員	占部 信太郎			実務 経験	有	職種	3DCGアーティスト/2Dデザイナー				
担当教員紹介											
モーショングラフィックスにおいて高い専門性を持ち、携わった映像作品多数。映像表現とデザインの融合、音声との調和についての研究結果を学生に還元する。											
授業概要											
この授業では、AfterEffectsを使用したアニメの撮影、Particule系のエフェクトの使用方法など、より高度な技術を学習し、応用能力を身に付けていく また、別の授業で作成した素材を、コンポジット工程でクオリティアップをしていけるようになることも学習である 最終的に、動画制作での絵の幅を大きく広げ、多彩な作品制作が行っていけるようになることがこの授業の大目標である											
到達目標											
以下、3つを習得する ・タイムシートの読み方、アニメセルのキーフレーム打ち、コンポジット(撮影) ・パーティクルエフェクトのコントロール方法 ・モーショングラフィックス制作、企画から動画制作までのプロジェクトワーク											
授業方法											
独自の資料・スライドを用意し、オンライン形式にて配信 ハンズオンでソフトを操作し、制作を通しながら学習していく その際、生徒からの質問に対してはその場、もしくはクラスルーム・メールにて回答していく											
成績評価方法											
試験・課題 70% 提出課題の出来で評価。期限や仕様を守れてない場合は大幅減点 成果発表 20% 作品発表の時のプレゼンや自己紹介などでのコミュニケーションスキルを重視 平常点 10% 授業に対する姿勢にて評価											
履修上の注意											
オンライン授業のため、事前に受講環境の整備・確認をした上で受講すること 理由のない遅刻・欠席は認めない 授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う その際はクラスルーム・Googleドライブを使用する 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	自己紹介を行った後に、授業内容の説明を行い、その後AfterEffectsの復習制作を行う										
第2回	タイムシートの読み方を学び、タイムリマップを使用してアニメのカットを撮影(コンポジット)する										
第3回	Particule Worldでのパーティクルシステムの概要と、コントロール方法を理解する										
第4回	Particule Worldの応用を学ぶ										
第5回	第3回と第4回を踏まえ、クオリティアップと応用事例の紹介、次回のモニターグラフィックス課題説明										

2022年度 日本工学院専門学校	
C G映像科	
デジタル演習 5	
第6回	モニターグラフィクス制作1週目、モニターグラフィクスの作り方の解説
第7回	モニターグラフィクス制作2週目、実践的な表現方法の紹介
第8回	モニターグラフィクス制作およびクオリティアップのためのチェック・アドバイスの実施
第9回	モニターグラフィクス作品発表およびプレゼンテーション
第10回	自由制作1週目、企画説明および制作
第11回	自由制作2週目、実践的な表現方法の紹介
第12回	自由制作3週目、実践的な表現方法の紹介
第13回	自由制作4週目、実践的な表現方法の紹介
第14回	自由制作最終週、クオリティアップのためのチェック・アドバイスの実施
第15回	自由制作作品発表およびプレゼンテーション、本授業の総評(状況により変動や前後の可能性はある)